

税金の行く場所

深川市立深川中学校 二年 細谷 さくら

私は、税金と聞いても消費税しか思い浮かばない。そもそも私たちの年齢で税金について深く考えることも、調べたりする人も少ないであろう。だが、私は、税金について調べたときに出てきた一つのニュースで、税金への印象が、ガラリと変わった。それは、病院まで救急車で運ばれたおじいちゃんの話だった。ただ、その病院では処置できなかつたらしい。そのため、車でなら三、四十分かかるところを、五分ほどで着くドクターヘリで移動したそうだ。ドクターヘリと聞くと、ものすごい額がかかると感じるが、おじいちゃんには保険があるので、一割負担すればよいらしい。

私は、このようなニュースを見ておどろいた。税金には負担を減らす役目もあるのだと。

更におどろいたのは、ドクターヘリが着陸後、ヘリポートができたため、搬送時間が短縮されたということだ。

私は、そこで、他にはどのようなところで使われているのか気になったため調べることにした。

私たちの一番身近なものでいうと、学校だろう。たとえば、教室の机や椅子、黒板、教科書、授業で使うパソコンや楽器、跳び箱など、その他にもたくさん学校のものに税金が使われている。また、一年間で一人あたりの子どもに使われる税金の金額は、中学生は約九十七万九千円らしい。ただ、中学生は、何百万人、何千万人、何億人も世界にはいるため、その税金を払う人々はすごいと思っただし、私も将来、税金を払うと思うと、お金の使い方には、気を付けようととても感じさせられました。

また、税金の役割は、道路や橋の整備にも果たされています。もし税金がなかったら、わたしたちのために道路や橋を修理するお金がないため、こわれたまま放置されてしまつてたり、修理した人から通行料の支払いを求められたり、なんてことが起りうるかもしれません。

税金に対して、めんどくさい、嫌だな、なんて思うことはたくさんあると思います。ただ、わたし達は、税金があるため支えられ、今、このように健康に、安心安全な暮らしをできている人がいます。

ただ、まだ世の中には、安定した生活や安心安全なまちづくりができていない場所がたくさんあります。そのため、私は、税金について改めて考え直し、貢献していくことが大切だと感じました。